※令和４年度以降入学生用

学校番号	208

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)現代文演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	１日１講　現代文評論②（三省堂） １日１講　文学（三省堂）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・問題集教材を使った演習形式の授業です。予習として次回学習する長文を読み、設問に解答してきて下さい。長文読解に主体的に取り組む姿勢が大切です。こつこつと積み重ねていくなかで、読解力の向上を図って下さい。
・１～２時間に１題のペースで解答および解説を行います。ただ単なる答え合わせに終始することなく、選択肢の選び方、記述問題の書き方などのテクニックを学んで下さい。
・読解のためには語彙力も必要です。漢字の読み書きや語句の意味についても積極的に調べ、使いこなせる力をつけましょう。
・さまざまなテーマを扱った「評論」や「小説」を読んでいきます。本文の内容から、社会や自然、文化等に関する情報を獲得し、広い知識と教養を身につけましょう。
・授業で使用する問題集の他に自宅学習用の問題集があります。身につけた読解力の確認をしながら主体的に問題に取り組んでください。演習量を増やすことでしか読解力は培われません。根気よく頑張りましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・長文読解力を身につけ、的確な選択肢を選ぶことができるとともに、記述問題に適切な表現で解答できるようにする。
・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、現代社会のさまざまな問題点や出来事に関心を持つとともに、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって文章を読むことに親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基本的な語彙力や漢字力を養い、文章中に用いられている意味を理解し適切に使うことができる。 ・接続語や指示語を正しく読み取り、文と文のつながりや記述内容の関係性を理解できる。	・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、「評論文」の筆者の主張や「小説」の登場人物の行動や心理を的確に読み取り、設問に対する解答を正しく選択できる。 ・記述による要約や解答を、適切な言葉を用いて表現できる。	・長文読解や記述問題に主体的に取り組み、決して諦めずに最後まで真摯に向き合う姿勢を養っている。 ・社会や文化、自然に対して日頃から関心を持ち、長文理解に生かそうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	評論・小説 ［教材］ ○1 日 1 講　現代文評論② 1.「倫理の問題」とは何か 2.本を読めなくなった人のための読書術 3.農業による環境破壊 4.悲観する力 5.視覚化する味覚 6.「自分らしさと日本語」 ○1 日 1 講　文学 1.カレーライフ 2.雪の断章 3.ピアノ 4.いつかX橋で 5.かなしみの場所 6.ぼくはこうして大人になる	a: ・接続語に注意して文と文のつながりを意識して前後の関係を理解している。 ・場所や出来事、登場人物などに注目し、状況の変化を読み取り、理解している。 ・文中の漢字について読み書きができる。 ・語句の、文中における意味を理解することができる。 b[読]: ・具体例がどのようなことを表しているか説明できる。例の内容を踏まえ、筆者の考えを読み取ることができる。 ・内容や構成展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養うことができる。 c: ・事前に長文を読み、設問に解答しようとしている。 ・文中の語句について、その読み書きを理解し、意味について調べようとしている。 ・記述問題に向き合い、指示に応じた表現をしようとしている。	行動の観察 記述の確認(問題集、プリント等) 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析(問題集プリント等) 定期考査	行動の観察 記述の確認(問題集、プリント等)
	評論・小説 ［教材］ ○1 日 1 講　現代文評論② 7.強い力と弱い力 8.縁食論 9.近代小説の読者 10.生まれてこないほうが良かったのか？ 11.食べ物から学ぶ世界史 12.はじめての動物倫理学 ○1 日 1 講　文学 7.グラン・モーヌ 8.東京公園 9.小猫 10.蛍 11.朝顔 12.金曜日の本屋さん	a: ・指示語が、語句、一文、段落全体などさまざまな内容をさすはたらきをもっていることを理解している。 ・時や場所を表す語に注目しても物語のなかの時間の流れを理解することができる。 ・文中の漢字について読み書きすることがができる。 ・語句の、文中における意味を理解することができる b[読]: ・接続語に注目して、段落と段落の関係を理解して、筆者の考えを読み取りすることgできる。 ・中心的人物を把握し、人物同士の関係を押さえながら、物語の流れを読み取りすることができる。 ・内容や構成展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉えることができる。 c:	行動の観察 記述の確(問題集プリント等) 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析(問題集プリント等) 定期考査	行動の観察 記述の確認(問題集、プリント等)

※令和４年度以降入学生用

		・事前に長文を読み、設問に解答しようとしている。 ・文中の語句について、その読み書きを理解し、意味について調べようとしている。 ・記述問題に向き合い、指示に応じた表現をしようとしている。			
2	評論・小説 ［教材］ ○1日1講　現代文評論② 13.めぐりながれるものの人類学 14.存在の遠近法 15.科学の最前線を切りひらく！ 16.小説と格闘した時代 17.私たちは何に従うべきか 18.江戸の学びと思想家たち ○1日1講　文学 13.少女 14.夏のくじら 15.春の道標 16.デミアン 17.ひと 18.きなりの二人	a： ・キーワードに注目し、その前後の内容を的確に理解しようとしている。 ・直接的な描写を探し、登場人物の感じたこと思ったことを把握している。 ・文中の漢字について読み書きすることができる。 ・語句の、文中における意味を理解することができる。 b[話/聞]： ・具体例がどのようなことを表しているか説明できる。例の内容を踏まえ、筆者の考えを読み取ることができる。 ・内容や構成展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養うことができる。 c： ・事前に長文を読み、設問に解答しようとしている。 ・文中の語句について、その読み書きを理解し、意味について調べようとしている。 ・記述問題に向き合い、指示に応じた表現しようとしている。	行動の観察 記述の確認(問題集、プリント等) 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析(問題集プリント等) 定期考査	行動の観察 記述の確認(問題集、プリント等)
	評論・小説 ［教材］ ○1日1講　現代文評論② 19.情報環世界 20.なぜ法に従うべきなのか 21.心をめぐる比喩表現 22.あなたは「論理的」ですか？ 23.バイアスとは何か 24.中動態の消滅と意志の台頭 ○1日1講　文学 19.ランドセル 20.斎藤茂吉　異形の短歌 21.こぶしの上のダルマ 22.麦本三歩の好きなもの 23.正義派 24.芙蓉の人	a： ・「つまり」「すなわち」などの言い換えを表す言葉に注目し、言い換えている内容を理解している。 ・繰り返しているところや、言葉を換えて同じ事を言い換えている内容を的確にとらえることができる。 ・文中の漢字について読み書きすることができる。 ・語句の、文中における意味を理解することができる。 b[書]： ・わかりにくい内容を具体的に言い換えているところを押さえ、指示された字数で表現することができる。 ・本文中から人物の感じたこと、思ったことが描かれている箇所を読み取り、指示された字数で説明することができる。 c： ・事前に長文を読み設問に解答しようとしている。	行動の観察 記述の確認(問題集、プリント等) 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析(問題集プリント等) 定期考査	行動の観察 記述の確認(問題集プリント等)

※令和４年度以降入学生用

		・文中の語句について、その読み書きを理解し、意味について調べようtしている。 ・記述問題に向き合い、文学的な文章の種類や特徴について理解を深めようとしている。			
3	評論・小説 ［教材］ ○1 日 1 講　現代文評論② 25.魚にも自分がわかる 26.隣人とは誰か 27.ダイエット幻想 28.人間は脳で食べている 29.〈意味〉の社会学 30.科学と「オッカムのカミソリ」 ○1 日 1 講　文学 25.海峡の光 26.黄色い目の魚 27.オリラン座からの招待状 28.二回のテーブル 29.日本の一文　30 選 30.「更級日記」の魅力	a: ・「から」「ので」「なぜなら」などの理由説明をしている内容を読み取り、文と文、段落と段落の接続関係を理解している。 ・描写の一つ一つに作者が意味をこめていることを意識し、状況や風景の描写に、心情が反映されることがあると理解している。 ・文中の漢字について読み書きすることができる。 ・語句の、文中における意味を理解している。 b[書]: ・比喩表現から作者が描こうとしている人物の心境と状況を読み取り、内面や思いを言葉で表現することができる。 ・筆者が何について述べようとしている文章であるかを読み取り、その主題を指示された字数でまとめて書くことができる。 c: ・事前に長文を読み、設問に解答しようとしている。 ・文中の語句について、その読み書きを理解し、意味について調べようとしている。 ・記述問題に向き合い、文学的な文章の種類や特徴について理解を深めようとしている。	行動の観察 記述の確認(問題集、プリント等) 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析(問題集プリント等) 定期考査	行動の観察 記述の確認(問題集、プリント等)

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　３０　）時間